

## 平成20年度第3回土佐清水市地域公共交通協議会の概要

日 時：平成21年1月23日（金） 10：00～11：00

場 所：土佐清水市天神町11-2 土佐清水市役所2階 第一会議室

出席者

委員：西村会長（土佐清水市長）、田村氏（足摺交通ハイヤー社長代理）  
西村氏（竜串見残観光ハイヤー）、小松氏（高知西南交通社長）  
角田氏（土佐清水市連合区長会長）、久保専門官（国土交通省四国運輸局高知運輸支局）、  
彼末氏（高知県交通政策課長）、近沢課長（土佐清水土木事務所工務課長）  
植木氏（清水警察署長代理）、澤田氏（高知県地域づくり支援課）  
横山氏（観光協会会長代理）、廣田氏（商工会議所会頭）  
速川室長補佐（企画広報室長代理）山田課長（観光課）、二宮課長（水産商工課）、  
矢野川所長（福祉事務所）、濱田課長（まちづくり対策課長）、  
酒井課長（学校教育課）、

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 議題

「1. 土佐清水市地域公共交通総合連携計画策定調査 中間報告について」  
（委託業者）

- ・ 別添資料に沿って説明。

「2. 意見交換」

（会長）

- ・ だいたい予想していたような結果が出ていると思うが、皆さん、どうか。

（委員）

- ・ 西南のアンケートは、自宅にも来ていたが書きにくかった。回収率もよくなかったと思う。  
この調査は、住民ヒアリングなので、よい数字が出ていると思う。

（委員）

- ・ 手間はかかったと思うが、よく集まっていると思う。

（委員）

- ・ 西南の協議会にも入っているが、やはり似たような意見が出ている。

バス運賃が高い、便数が少ないことは共通の課題である。

計画の中で、運賃の値下げや定期的割引をしていけば、利用は増えると思うが、赤字が出ることは必至で、自治体負担が増える。

（会長）

- ・ アメリカのグリーンニューディール政策など、環境面への配慮も言われる中で、公共交通の果たす役割は大きい。

(委員)

- ・ 安全面からも、利用しやすくして高校生のバイク通学をバスに変えてもらうとか、高齢者の免許返納を増やすことができればよい。

(会長)

- ・ 市も免許返納への支援を上乗せするとか、市職員に通勤手当でなく定期を配布するなどの思い切ったことをしていかななくてはならない。

(委員)

- ・ この調査の結果を、どう計画に活かして行くか。課題点については、ある程度、予想していたことが出ている。

(委員)

- ・ 計画については、住民の希望にすべてこたえることが、よいこととは限らないのでは。とにかく利用しやすく、利用し続ける、という考えで。

(委員)

- ・ 中間報告ということだが、まだ調査することが残っているということか。

(業者)

- ・ 意見集約のすんでいない地区と実施予定日を回答。

(会長)

- ・ このように調査が進んでいる。同時に分析を行い、課題も見えてきて、それを活かして計画を策定する、ということよろしいか。

○ 承認

「3. 今後の日程について」

(会長)

- ・ 視察については、少し遠くても一番、進んでいるところを見るべきだ。

(委員)

- ・ 講師による研修会は？

(業者)

- ・ 視察の場に来ていただくという方法もあるので、早急にまたピックアップする。

○ 日程調整でき次第、案内することで承認

4 閉会